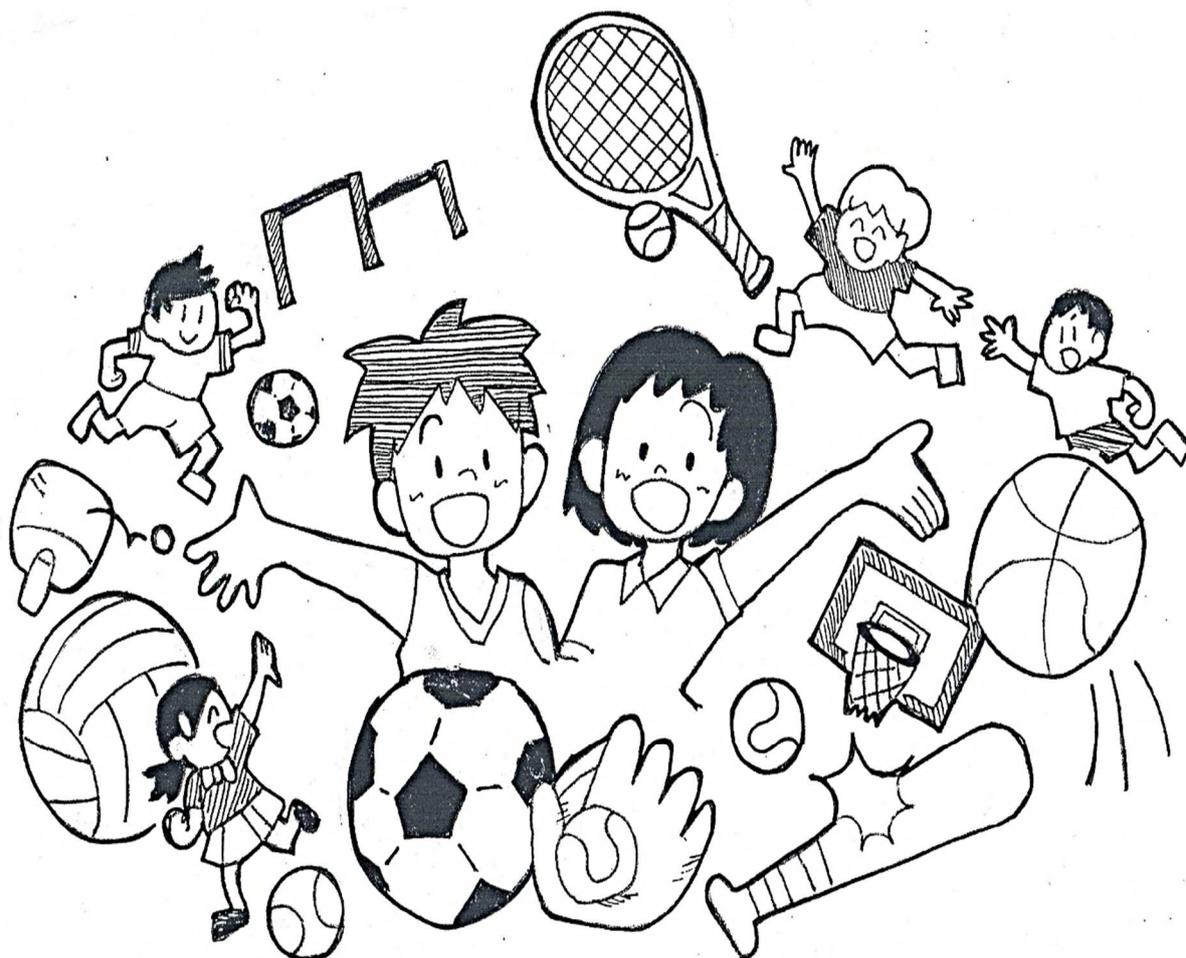


体育的活動領域部会

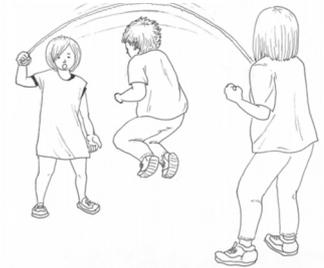
体活ハンドブック



長なわ跳び

長なわ跳び

しりとび (しりとり)



(1) 行い方例

～たくさんのなわを用意し、5～8人のグループで行う～

(2) 工夫例

- ・八の字跳び ・郵便屋さん
- ・くぐり抜け ・跳びながらジャンケン
- ・なわの回し方を送りなわから、迎えなわに変える。
- ・跳んだ後、なわに入った方向に出る。 ・ダブルダッチ
- ・しりとりをしながら跳ぶ。(ex.「り・ん・ご→3回」跳んで抜ける) など

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・長なわ跳びのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○友達となわを回す役を交代しながら遊んでいる。 ○失敗した友達を励ましている。	【称賛の言葉かけ例】 ・「みんなで役割を交代して楽しめているね。」 ・「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね！」	
		・一人一人が好きな跳び方ができるようにする。 ・励ます方が、苦手な友達でも上手にできるようになることに気付かせる。	△提示された遊び方に興味がない。 △失敗した友達に文句を言っている。
	・長なわ跳びをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね！」	
・自分に合った長なわ跳びを見つめ直している。(気付いている。)(自己調整)			
	○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね！」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
		・跳ぶのが苦手な児童には跳ばない遊びを紹介する。(くぐり抜け、郵便屋さんなど)	△長なわ跳びが得意ではなく、どの跳び方も楽しめていない。

・長なわ跳びのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達に遊び方のコツを伝えようとしている。
- 友達と場所を譲り合っている。

【称賛の言葉かけ例】

「その気付き、素晴らしいね！」
「場所を上手に使えているね。」

・教師と一緒に楽しんで、遊びのよさに気付かせる。

△グループで考えた遊びを楽しめない。

・長なわ跳びをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて、いろいろな遊び方に挑戦している。
- 跳ぶ人数、入る方向・出る方向を様々に変えて、より楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「その遊び方、面白そうだね。」
「よい遊び方を思い付いたね。」
「みんなで思い付いた遊び方を試すことは、とてもいいね！」

・別の遊び方を紹介し、一緒に遊ぶ。

△1回目の遊び方に飽きてしまい、楽しめない。

・自分に合った長なわ跳びの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

「何度もチャレンジして素晴らしいね。」
「いろいろな遊び方にチャレンジしていて、いいね。」

手押し相撲



(1) 行い方例

～手のひら同士を押したり引いたりし合い、先にバランスを崩して動いたほうの負け～

(2) 工夫例

・しゃがみ相撲 ・片足相撲 ・座り相撲 ・おしり相撲

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイヤー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	<p>・手押し相撲のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)</p>		
	<p>○いろいろな友達と遊んでいる。 ○勝ち負けを受け入れて遊んでいる ○安全に気を付けて遊んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】 「いろいろな友達と遊びを楽しんでいるいいね。」 「何度も挑戦して楽しめているね。」</p>	
		<p>・毎回対戦相手を変えて、いろいろな友達で行えるようにする。 ・ケンステップなど印になるものを置き、動いたことが遊んでいる児童自身も分かるようにする。</p>	<p>△同じ友達としか遊ぼうとしない。 △勝敗がはっきりせず、楽しめていない。</p>
	<p>・手押し相撲をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)</p>		
	<p>○自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね！」</p>	
		<p>・別の遊び方を紹介して、一緒に遊ぶ。</p>	<p>△手押し相撲の遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。</p>
<p>・自分に合った手押し相撲を見つめ直し気付いている。(自己調整)</p>			
<p>○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね。」</p>		
	<p>・2対2や、チーム戦にする行い方を紹介する。</p>	<p>△手押し相撲が得意ではなく、どの行い方も楽しめていない。</p>	

・手押し相撲のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- いろいろな友達と遊んでいる。
- 勝ち負けにこだわらずに遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

- 「すごく楽しそうだね！」
- 「何度もチャレンジしていて素晴らしいね。」

- ・何度も楽しめるように相手を変えて何回も行う。
- 「次は勝てるかも！」「何回もやってみよう！」

△勝負にこだわり、文句を言う。

・手押し相撲をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 一緒に遊ぶ人数や遊ぶ時の姿勢を様々に変えて、さらに楽しもうとしている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その遊び方、バランスをとるのが難しく面白そうだね。」
- 「姿勢や人数を変えるのはいいアイデアだね。」

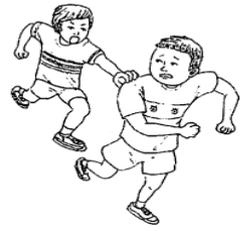
・自分に合った手押し相撲の行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「何度もチャレンジして楽しそうだね。」
- 「面白そうな遊びを真似してみるのもいいね。」

しっぽとり鬼



(1) 行い方例

～コートの中で他の児童のしっぽ(赤白帽など)を取ったり取られたりしないように逃げる～

(2) 工夫例

- ・2チームで対戦する ・おとり作戦
- ・王様作戦 ・グループを替えて遊ぶ

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・しっぽとり鬼のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○友達と楽しく逃げたり追いかけたりする。 ○タッチされてしまった友達を励ましている。 ○安全に気を付けて遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「あきらめずに、逃げていて素晴らしいね。」 「仲間がタッチされたときの『ドンマイ!』がいいね!」 「まわりをよく見て遊べているね。」	
		・コートを広さを変える。 ・分かりやすい目印をつくる。 ・簡単なルールに変えてあげる。 ・タッチされないようするにはどうするかを考えさせる。	△コートから出て逃げてしまう。 △提示された遊び方に興味をもてない。 △タッチされて文句を言う。
	・しっぽ取り鬼をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○思い付いた逃げ方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「その逃げ方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね!」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
		・逃げ方を紹介し、一緒に行く。	△しっぽ取り鬼の遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。
・自分に合ったしっぽ取り鬼の行い方に気付いている。(自己調整)			
○いろいろな逃げ方に挑戦し、繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね!」 「そんな逃げ方ができるのか。すごい!」		
	・一緒に逃げて、逃げ方を教える。	△しっぽ取り鬼が得意ではなく、楽しめていない。	

・しっぽ取り鬼のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

○友達につかまえ方や逃げ方のこつを伝えようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「その気付き、素晴らしいね！」
「逃げ方が上手だね。」

・場所を広くとるようにする。

△友達同士でぶつかってしまう。

・しっぽ取り鬼をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

○自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな逃げ方に挑戦している。
○様々な逃げ方を友達と共有して、作戦を立てながら遊ぶ。

【称賛の言葉かけ例】

「その遊び方、面白そうだね。」
「面白い遊び方を思い付いたね！」
「おにの数や広さを変えるのはいいアイデアだね。」

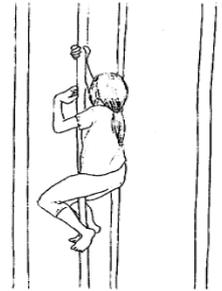
・自分に合ったしっぽ取り鬼の行い方に気付いている。(自己調整)

○いろいろな逃げ方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
○友達の逃げ方を見て、まねをし、楽しく遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

「何度もチャレンジして素晴らしいね。」
「追いかけるのも逃げるのも楽しそうでいいね。」

ジーシャック



(1) 行い方例

～クラスを半分に分けて2グループをつくる～

～一方のグループは1人1個磁石を持ち、30秒で15～20個の磁石を遊具につける～

～もう一方のグループは遊具に付けた磁石を取りに行く。(全部取れたタイムを計る)～

(2) 工夫例

・磁石の付ける位置を高くしたり、低くしたりして難易度を変える。

・磁石を1人1個ではなく、2個にする。

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・ジーシャックのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○友達と相談しながら磁石の付ける場所を考えている。 ○うまく磁石を付けることができない子に協力をしている。	【称賛の言葉かけ例】 「協力して磁石を取っていて賢いね。」 「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね!」	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ルールをもう一度確認する。 ・一緒に磁石を付けてあげる。 	△遊具に付けず、違う所に付けてしまう。 △提示された遊び方に興味がない。
	・ジーシャックをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いた遊び方を友達に伝えている。	【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね!」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
		遊び方を紹介し、一緒に行く。	△ジーシャックの遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。
・自分に合ったジーシャックの行い方に気付いている。(自己調整)			
○高さを調整して磁石を付けている。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白いところに磁石を付けたね。」		
	<ul style="list-style-type: none"> ・どこなら付けられるかを考えてあげる。 ・遊具に登らずに磁石を付けて良いことを伝える。 	△遊具が得意ではなく、楽しめていない。	

・ ジーシャックのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達に色々な磁石を付ける場所を伝えようとしている。
- 友達と場所を譲り合って使っている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その気付き、素晴らしいね。」
- 「場所を上手に使えているね。」

- ・場所を割り振ってあげる。

△友達の遊びの邪魔になってしまう。

・ ジーシャックをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた付け方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
- 磁石の付ける数や磁石を付ける場所を変えて、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その磁石の付け方、面白そうだね。」
- 「面白い遊び方を思い付いたね。」

・ 自分に合ったジーシャックの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな磁石のとり方や磁石の付け方をし、遊びに繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「何度もチャレンジして素晴らしいね。」

すり抜け鬼



(1) 行い方例

- ～鬼を5人決めて、カラーコーンとカラーコーンの間に立ちゴールを守る～
- ～逃げる側は鬼にタッチされないようにゴールを目指す～
- ～ゴールしたら1ポイント、鬼にタッチされたら最初に戻る～

(2) 工夫例

- ・鬼の数を増やす。
- ・カラーコーンとカラーコーンの間を狭めたり、広くしたりする
- ・全員ゴールしたら勝ち ・作戦をたてる

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	<p>・すり抜け鬼のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)</p>		
	○友達と協力しながらゴールを目指している。	<p>【称賛の言葉かけ例】 「友達と協力してゴールして賢いね。」</p>	
		<p>・ルールを確認してあげる。 ・コーンとコーンの間を広くするように声かける。</p>	<p>△タッチされたのに最初に戻らない。 △コーンとコーンの間を通らない。</p>
	<p>・すり抜け鬼をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)</p>		
	○自分の思い付いたすり抜け方を友達に伝えている	<p>【称賛の言葉かけ例】 「そのすり抜け方、面白そうだね。」 「面白い動き方を思い付いたね！」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」</p>	
		<p>・遊び方を紹介し、一緒に行く。</p>	<p>△すり抜け鬼の遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。</p>
	<p>・自分に合ったすり抜け鬼に気付いている。(自己調整)</p>		
	○いろいろなすり抜け方に挑戦し、繰り返し取り組んでいる。	<p>【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね！」 「そんなすり抜け方ができるのか、すごい！」</p>	
	<p>・友達と作戦を考えてすり抜け鬼を行うように声かけをする。</p>	<p>△すり抜け鬼が得意ではなく、楽しめない。</p>	

・ すり抜け鬼のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達にすり抜け鬼のこつを伝えようとしている。
- みんなで作戦を考えて取り組もうとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「その気付き、素晴らしいね！」
「みんなで作戦を考えていてすばらしいね。」

・ すり抜け鬼をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いたすり抜け方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
- すり抜け方の作戦をたくさん考えて、取り組み何度も挑戦している。

【称賛の言葉かけ例】

「そのすり抜け方、面白そうだね。」
「面白いすり抜け方を思い付いたね！」

・ 自分に合ったすり抜け鬼の行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろなすり抜け方に挑戦し、その中のいくつかのすり抜け方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達のすり抜け方を見て、できそうなすり抜け方を試している。

【称賛の言葉かけ例】

「何度もチャレンジして素晴らしいね。」

ターゲットスナイパー



(1) 行い方例

～ダンボールの前に並び、1球投げたら後ろの友達と交代する～
 ～ダンボールを全部倒した回数を競う～

(2) 工夫例

- ・ダンボールの置き方を高くしたり、低くしたりする
- ・ダンボールまでの距離を変えて投げる
- ・ダンボールによって得点が違うなどのポイント制にする

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・ターゲットスナイパーのルールを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○ダンボールを倒してみんなで喜んでいる。 ○ボールを投げて失敗した友達に励ましている。	【称賛の言葉かけ例】 「みんなで応援していていいね。」 「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね！」	
		<ul style="list-style-type: none"> ・場を多く用意する。 ・ダンボールが倒れなくても当てるだけで良いことを伝える。 ・ボールを投げるのが苦手な友達でも声をかけて励ますようにする。 	△順番を守れない。 △提示された遊び方に興味をもてない。 △失敗した友達に文句を言っている。
	・ターゲットスナイパーをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いたダンボールの積み方で遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「そのダンボールの積み方、面白そうだね。」 「面白い積み方を思い付いたね！」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊び方を紹介し、一緒に行く。 	△ターゲットスナイパーの遊びの工夫を思い付かず楽しめない。
・自分に合ったターゲットスナイパーの行い方に気付いている。(自己調整)			
○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね！」 「そんな跳び方ができるのか。すごい！」		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを投げるのが苦手な児童には投げ方を紹介するようにし、ダンボールに当てるだけでも良いことを伝える。 	△的(ダンボール)に当てることが得意ではなく、楽しめていない。	

・ターゲットスナイパーのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達にボールの投げ方のコツを伝えようとしている。
- 友達と話し合っダンボールの当てる場所を決めている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その気付き、素晴らしいね！」
- 「アドバイスをされていて、いいね。」

- ・もう一度ルールの確認をさせる。

△順番を守らずかってにボールを投げる。

・ターゲットスナイパーをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
- ダンボールの数を増やして遊んでいる。
- 様々なダンボールの大きさを選り高さを調整して遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

- 「そのダンボールの積み方、面白そうだね。」
- 「面白い積み方を思い付いたね！」

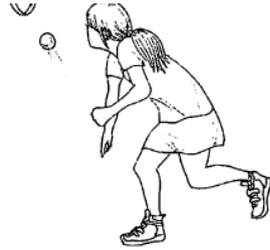
・自分に合ったターゲットスナイパーの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな投げ方や積み方に挑戦し、繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「何度もチャレンジして素晴らしいね。」

ボール投げ



(1) 行い方例

～的の前に並び、1球投げたら後ろの友達と交代する～

(2) 工夫例

- ・ただ的に当てるのではなく、強く投げる
- ・的に音の出るような物を使用する
- ・的までの距離を変えて投げる
- ・的によって得点が違うなどのポイント制にする

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・ボール投げのルールを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働) </div>		
	○どこの的に当てたら良いかを考えている。 ○失敗した友達に励ましている。	【称賛の言葉かけ例】 「自分に合った的を選んでいて考えているね。」 「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね！」	
		・自分勝手に投げることは危険であることを伝える。 ・投げ方を教えてあげる。 ・励ます方が、苦手な友達でも上手にできるようになることに気付かせる。	△順番を守れない。 △提示された遊び方に興味をもてない。 △失敗した友達に文句を言っている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・ボール投げをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ) </div>		
	○自分の投げ方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね！」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
		・遊び方を紹介し、一緒に行く。	△ボール投げの遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ・自分に合ったボール投げの行い方に気付いている。(自己調整) </div>		
	○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「良い投げ方を思い付いたね！」 「遠くに投げているね。すごい！」	
	・投げるのが苦手な児童には、低い所にある的にねらって投げるようにする。	△ボール投げが得意ではなく、楽しめていない。	

・ボール投げのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達に投げ方のコツを伝えようとしている。
- 友達と場所を譲り合って使っている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その気付き、素晴らしいね！」
- 「場所を上手に使えているね。」

- ・場所を割り振ってあげる。

△他のグループの遊びの邪魔になってしまう。

・ボール投げをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた投げ方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな投げ方に挑戦している。
- チーム戦にしたり、投げる位置を変えたりともっと楽しめる遊び方をしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「その投げ方なら遠くの的が狙えそうだね。」
- 「投げ方が上手だね！」

・自分に合ったボール投げの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな投げ方や遊び方に挑戦し、繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「何度もチャレンジして素晴らしいね。」

ハンド卓球



(1) 行い方例

～1対1で対戦し、手のひらで、ボールを返す～

～最初のボールは、自分のコートに入れてから、相手のコートにボールを入れる～

(2) 工夫例

・人数を増やして行う

・手のひらでなく、オリジナルラケット(段ボールや下じきなど)で行う

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイヤー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・ハンド卓球の行い方を守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○すぐに取りかかっている。 ○失敗した友達を励ましている。	【称賛の言葉かけ例】 「準備が早くてたくさんできそうだね。」 「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね!」	
		<ul style="list-style-type: none"> ・行い方が理解できていないことが要因であるかもしれないため、確認したり、一緒に行ったりする。 ・励ます方が、苦手な友達でも上手にできるようになることに気付かせる。 	△行い方を理解できていない。 △失敗した友達に文句を言っている。
	・ハンド卓球をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いた行い方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方を思い付いたね。」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
	・自分に合ったハンド卓球を見つめ直している。(気付いている。)(自己調整)		
○いろいろな行い方に挑戦し、その中のいくつかの行い方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「楽しい遊び方を見付けられたんだね。」		
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチして投げるやり方を紹介する。 ・ラケットを大きいものに変える。 	△ハンド卓球が上手にできず、どの行い方も楽しめていない。	

・ハンド卓球の行い方を守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達と声をかけ合ったり、遊び方のコツを伝えたりしようとしている。
- 友達と場所を譲り合って使っている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「声をかけ合うことで、より楽しく遊べているね。」
- 「その気付き、素晴らしいね！」
- 「場所を譲り合って使えているね。」

- ・教師と一緒に楽しんで、遊びのよさに気付かせたり、ヒントをあたえたりする。

△グループで考えた遊びを楽しめない。

・ハンド卓球をより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて、一緒に遊んだりいろいろな遊び方に挑戦したりしている。
- 遊ぶ人数、球を打つ方向などを変えて、より楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「面白い遊び方を思い付いたね！」
- 「みんなで思い付いたことを試しながら遊べていて、いいね！」
- 「一度により多くの友達が、楽しめるね。」

- ・別の遊び方を紹介し、一緒に遊ぶ。

△一回目の遊び方に飽きてしまい、楽しめない。

・自分に合ったハンド卓球の行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな行い方に挑戦し、その中のいくつかの行い方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の行い方を見て、楽しそうな行いを選んで、試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「いろいろな行い方をすることで、より楽しめるようになっていて、いいね！」
- 「友達の遊び方を試してみるのも、楽しいね。」

リバーシ



(1) 行い方例

- ～赤と白に分かれ、自分の色のリバーシをめくる～
- ～時間を設定し、最後に自分の色のリバーシが多い方が勝ち～

(2) 工夫例

- ・ケンケン跳びで移動する
- ・チーム戦にする
- ・2人組で手をつないで移動する

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・リバーシのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○きまりを守って友達と順番を交代しながら遊んでいる。 ○友達と一緒に喜んで嬉んだり、うまくいかなかった友達を励ましたりしている。	【称賛の言葉かけ例】 「みんなで役割を交代していて賢いね。」 「一緒に喜んで盛り上げたり、『ドンマイ!』と励ましたりする声かけがいいね!	
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が好きな跳び方ができるようにする。 ・見ている児童も、一緒に喜んで嬉んだり励ましたりすると、負けても楽しめたり、上手にできるようになることに気付かせる。 	△提示された遊び方に興味をもてない。 △勝敗を受け入れられなかったり、友達に文句を言ったりしている。
	・リバーシをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思い付いたね!」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげよう。」	
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊び方を紹介し、一緒に行く。 	△リバーシの遊びの工夫を思い付かず、楽しめない。
・自分に合ったリバーシを見つめ直している。(気付いている。)(自己調整)			
○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思い付いたね!」 「そんな跳び方ができるのか。すごい!」		
	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童には、複数名で競ったり、偶然性で勝ったりできる遊び方を紹介する。(チーム戦、ジャンケンを取り入れるなど) 	△どの遊び方も楽しめていない。	

・リバーシのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達に遊びのこつを伝えようとしている。
- 友達と場所や順番を譲り合って遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

「その気付き、素晴らしいね！」
「場所や順番を考えて遊べているね。」

・場所を割り振ったり、遊びの順番を提示したりする。

△他のグループの遊びの邪魔になってしまっている。

・リバーシをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
- 遊ぶ人数、移動の仕方、ゲームの時間などを様々に変え、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「その遊び方、面白そうだね。」
「面白い遊び方、思い付いたね！」

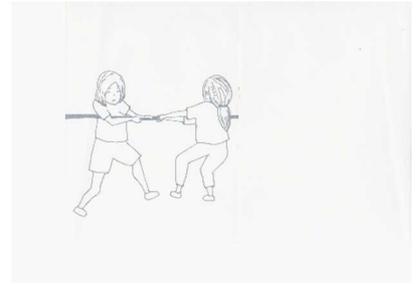
・自分に合ったリバーシの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

「何度もチャレンジして素晴らしいね。」
「いろいろな遊び方に挑戦できていいね。」

つなひき



(1) 行い方例

～二手に分かれて綱を引っ張り合う～

(2) 工夫例

・人数を増やす ・クロスつなひき ・お助けつなひき

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイヤー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・つなひきのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○たくさんの友達と対戦している。 ○友達とグループになって対戦している。 ○失敗した友達を励ましている	【称賛の言葉かけ例】 「みんなで力を合わせて引っ張っていて賢いね」 「失敗したときの『ドンマイ!』がいいね!」	
		・行い方が理解できていないことが考えられるので一緒に行く。 ・絵図で示したり、活動内容を掲示したりする。 ・励ますと、苦手な友達でも上手にできるようになることに気付かせる。	△グループで決めた行い方を守れていない。 △失敗した友達に文句を言っている。
	・つなひきをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思い付いた行い方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「楽しそうだね。みんなでやってみよう。」 「楽しい遊び方を思い付いたね!」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」	
	・自分に合ったつなひきの行い方に気付いている。(自己調整)		
	○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「楽しい遊び方を見付けられたんだね。」	
		・綱の握り方、引くときのこつを紹介する。	△つなひきが得意ではなく、どの引き方も楽しめていない。

・つなひきのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)

- 友達と声を掛け合ったり、遊び方のコツを伝えたりしようとしている。
- 友達と場所を譲り合って使っている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「声を掛け合うことで、より楽しく遊べているね。」
- 「その気付き、素晴らしいね！」
- 「場所を譲り合って使えているね。」

- ・教師と一緒に楽しんで、遊びのよさに気付かせる。
- ・場所を割り振る。

△他のグループの遊びの邪魔になってしまう。

・つなひきをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

- 自分の思い付いた遊び方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
- 引っ張る人数、引っ張り合う方向、なわの本数などを様々に変えて、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

- 「面白い遊び方を思い付いたね！」
- 「みんなで思い付いたことを試しながら遊べていて、いいね！」
- 「一度により多くの友達が、楽しめるね。」

- ・別の遊び方を紹介し、一緒に遊ぶ。」

△一回目の遊び方に飽きてしまい、楽しめない。

・つなひきの行い方に気付いている。(自己調整)

- いろいろな引き方持ち方に挑戦し、その中のいくつかの行い方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の行い方を見て、楽しそうな行いを選んで、試している。

【称賛の言葉かけ例】

- 「何度もチャレンジすることで、より楽しめるようになっていて、いいね！」
- 「友達の遊び方を試してみるのも、素晴らしいね。」

ドンじゃん

ドンじゃん

2方向

ドンじゃん



(1) 行い方例

- ～直線の両端から中央に向かって走り、相手と両手を合わせて「ドン」と言う～
- ～じゃんけんをして、負けたチームは次の児童が出発する～
- ～相手陣地のコーンにタッチできたら得点できる～



(2) 工夫例

- ・片足で跳びながら進む。 ・左右交互に跳びながら進む。
- ・コースを曲線にする。 ・進む方向を増やす。

(3) 具体的な評価規準に即した児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	<p>・ドンジャンのきまりを守って、友達と協力して取り組もうとしている。(協働)</p>		
	<p>○順番を守って、ドンジャンをしている。</p> <p>○友達と声をかけ合い、励まし合ったり自分の気付いた攻め方のコツを教えたりしている。</p> <p>○みんなで遊び方を決めて、遊んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】</p> <p>「ナイス!」「ドンマイ!」と声をかけあうとチームが盛り上がっているね。</p>	
		<p>・友達とうまく関わっていない児童には、対戦相手を変えたりチーム編成を工夫したりして配慮する。</p> <p>・行い方を絵図で示したり、活動内容を掲示したりする。</p>	<p>△順番を守っていない。</p> <p>△ドンジャンのきまりを守っていない。</p> <p>△友達に文句を言っている。</p>
	<p>・ドンジャンをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)</p>		
	<p>○自分の思い付いた遊び方の工夫を友達に伝えて一緒に遊んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】</p> <p>「その遊び方、面白そうだね。」</p> <p>「楽しい遊び方、思い付いたね!」</p>	
		<p>・簡単な遊び方を紹介したり、一緒に行ったりする。</p>	<p>△遊びに飽きてしまい、楽しめていない。</p>
	<p>・自分に合ったドンジャンの行い方に気付いている。(自己調整)</p>		
	<p>○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】</p> <p>・〇〇さんの作戦/声かけがよかったね。</p>	
	<p>・作戦を考えたり、友達にアドバイスをしたりする等、様々な役割を提示する。</p> <p>・有効な言葉かけを考えさせ、励ます言葉かけや自分の気付いたコツを伝えるとよいことに気付かせる。</p>	<p>△自分の役割に肯定感をもてず、楽しめていない。</p>	

・ドンジャンのきまりを守って、友達と協力して取り組もうとしている。(協働)

○友達と声をかけ合い、励まし合ったり自分の気付いた攻め方のコツを教えたりしている。
○みんなで遊び方を決めて、遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】
「右!」「左!」と方向を教えてあげる声かけがナイスだね!

・全体を見渡して他の遊びの邪魔になったり、ぶつかったりしないよう、安全面にも配慮させる。
・作戦を考えたり、友達にアドバイスをしたり、新しい遊び方を提案する等、様々な役割を提示する。

△どんジャンを友達と一緒に楽しめていない。

・ドンジャンをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)

○進行方向を増やしている。
○進む距離を変えている。
○進み方(ケンケンや姿勢等)を変えている。
○用具を取り入れている。

【称賛の言葉かけ例】
「その遊び方、面白そうだね。」
「面白い遊び方、思い付いたね!」

・進行方向や進む距離、進み方(ケンケンや姿勢等)、用具を取り入れるなどの工夫例を紹介する。

△遊びに飽きてしまい、楽しめていない。
△自分の役割に肯定感をもてず、楽しめていない。

・自分に合ったドンジャンの行い方に気付いている。(自己調整)

○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。

【称賛の言葉かけ例】
「何度もチャレンジして素晴らしいね。」
「いろいろな遊び方に挑戦できていいね。」

ドッジビー六むし



(1) 行い方例

～2チームに分かれる。～

～逃げる人は指定の場所で待機しながら六むし(6 週回る)を達成したら勝ち～

～鬼にドッジビーを当てられたら周回がリセットされる～

(2) 工夫例

・ドッジビー六むしの数を増やす ・コート of 形を増やしてみる

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	<p>・ドッジビー六むしのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)</p>		
	<p>○当てた友達と一緒に喜んでる。 ○当てられてしまった友達を励ましている。</p>	<p>・「友達とハイタッチする姿が素敵だね。」 ・「当てられてしまった友達を励ます言葉がいいね！」</p>	
		<p>・前向きな言葉を掛けている友達を取り上げ全体に広げる。 ・ドッジビーを増やし、投げる機会を増やす。 ・判定しづらいときの対応策をみんなで教える。</p>	<p>△当てられた友達を冷やかす。 △友達のドッジビーを横取りする。 △判定に対して友達に文句を言っている。</p>
	<p>・ドッジビー六むしをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)</p>		
	<p>○自分の思いついた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】 「その遊び方、面白そうだね。」 「楽しい遊び方、思いついたね！」 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」</p>	
		<p>・遊び方を紹介し、一緒に行く。</p>	<p>△ドッジビー六むしの遊びの工夫を思いつかず、遊びが停滞している</p>
	<p>・自分に合ったドッジビー六むしを見つめ直し気付いている。(自己調整)</p>		
	<p>○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。</p>	<p>【称賛の言葉かけ例】 「何度も挑戦していて、いいね。」 「面白い遊び方、思いついたね！」 「そのルールだとみんなが楽しめていていいね」</p>	
	<p>・避けられたことや、落ちたドッジビーを素早く拾えたことなどを称賛する。</p>	<p>△ドッジビー六むしが得意ではなく、どの行い方も楽しめていない。</p>	

・ドッジビー六むしのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。 (協働)

○友達に遊び方のコツを伝えようとしている。
○自分が当たったことを認め、外に出ている。

【称賛の言葉かけ例】
「〇〇さんがうまくなったのはあなたのおかげだね！」
「正直に外に出ているところがいいね。」

・より広い場所へ移動する。
・ドッジビーの数を増やし、投げる機会を増やす。

△他のグループの遊びの邪魔になってしまう。
△友達のドッジビーを横取りする。

・ドッジビー六むしをより楽しくするために工夫しようとしている。 (粘り強さ)

○自分の思いついた遊び方を友達に伝えて一緒に遊び、いろいろな遊び方に挑戦している。
○コート大きさやドッジビーの数を様々に変えて、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】
「コートを小さくすると皆が当てやすくなって楽しかったね。」
「みんなが活躍できる方法を思いついたね！」

・自分に合ったドッジビー六むしの行い方に気付いている。 (自己調整)

○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
○友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】
「当たっても笑顔で遊んでいいね。」
「みんなが投げられるようにしているいいね。」

ドッジビー



(1) 行い方例

～2チームに分かれ、ドッジボールと同じルールで、ドッジビーを使用する～
～時間を設定し、最後に内野にいる人数が多いチームの勝ち。～

(2) 工夫例

・ドッジビーの数を増やす ・コートの変えてみる

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・ドッジビーのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。(協働)		
	○友達と一緒に楽しくしている。 ○当てられてしまった友達を励ましている。	【称賛の言葉かけ例】 「友達とハイタッチする姿が素敵だね。」 「当てられてしまった友達を励ます言葉がいいね！」	
		・前向きな言葉を掛けている友達を取り上げ全体に広げる。 ・ドッジビーを増やし、投げる機会を増やす。 ・判定しづらいときの対応策を事前に一緒に考える。	△当てられた友達を冷やかす。 △友達のドッジビーを横取りする。 △判定に対して友達に文句を言っている
	・ドッジビーをより楽しくするために工夫しようとしている。(粘り強さ)		
	○自分の思いついたコートの大さきやボールの数を増やして一緒に遊んでいる。 ○ルールを変え、何度も楽しめるように工夫している。	【称賛の言葉かけ例】 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」 「捕ったら復活できるルールを考えたらいいね！」	
		・遊び方を紹介し、一緒に行う。	△ドッジビーの遊びの工夫を思いつかず、楽しめない。
	・自分に合ったドッジビーを見つめ直し気付いている。(自己調整)		
	○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「当たってもすぐに外野で声を掛けていて、いいね。」 「面白い遊び方思いついたね！」 「みんなが楽しめるように意見をまとめているいいね。」	
	・投げるのが苦手な児童には体を大きくつかうことを助言する。 ・上手に避けている児童を称賛する。	△ドッジビーが得意ではなく楽しめていない。	

・ドッジビーのきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。 (協働)

- 友達に遊び方のきまりを伝えようとしている。
- 判定を受け入れて遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

「きちんときまりを守っていていいね！」
「正直に当たったことを認めていて素敵！」

- ・みんなが活躍できたほうが楽しくなるということを全体に広げる。
- ・ドッジビーの数を増やし投げられる機会を増やす。

△同じ子ばかりが投げている、退屈そうにする姿が目立つ。

・ドッジビーをより楽しくするために工夫しようとしている。 (粘り強さ)

- 自分の思いついた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。
- ドッジビーの数やコートの大きさなどを様々に変えて、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「コートを小さくすると皆が当てやすくなって楽しかったね。」
「みんなが活躍できる方法を思いついたね！」
「コートの大きさやドッジビーの数を工夫すると楽しめるね。」
「みんなの考えを取り入れていていいね！」

・自分に合ったドッジビーの行い方に気付いている。 (自己調整)

- いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

「当たっても笑顔で遊んでいていいね。」
「みんなが投げられるようにしているいいね。」

ダンス（ヨガ）



(1) 行い方例

- ～曲に合わせて踊る～
- ～教師の振り付けのまねをして踊る～
- ～ダンスだけではなく、体づくりも取り入れる～

(2) 工夫例

- ・振り付けを考えたり、組み合わせたりして踊る。

(3) 活動内容に即した評価規準の具体的な児童の姿と支援例

活動	○楽しめている姿	教師(プレイリーダー)の支援例	△楽しめていない姿
1回目	・ダンス（ヨガ）のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。（協働）		
	○先生のまねをして体を動かしている。 ○みんなと仲良くダンス(ヨガ)をしている	【称賛の言葉かけ例】 「笑顔で体を動かしている。」 「友達と仲良く動いていいね！」	
		・前向きな言葉を掛けて、一緒にダンス(ヨガ)をする。 ・判定しづらいときの対応策を事前に一緒に考える。	△先生の動きをまねしない。
	・ダンス（ヨガ）をより楽しくするために工夫しようとしている。（粘り強さ）		
	○自分の思いついたコートの大さきやボールの数を覚えて一緒に遊んでいる。 ○ルールを変え、何度も楽しめるように工夫している。	【称賛の言葉かけ例】 「友達も楽しそうだね。他の友達にも教えてあげてね。」 「捕ったら復活できるルールを考えたんだね！」	
		・遊び方を紹介し、一緒に行く。	△ダンス(ヨガ)の遊びの工夫を思いつかず、楽しめない。
・自分に合ったダンス（ヨガ）を見つめ直し気付いている。（自己調整）			
○いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。	【称賛の言葉かけ例】 「当たってもすぐに外野で声を掛けていて、いいね。」 「みんなが楽しめるように意見をまとめていていいね。」		
	・投げるのが苦手な児童には体を大きくつかうことを助言する。 ・上手に避けている児童を称賛する。	△ダンス(ヨガ)が得意ではなく楽しめていない。	

・ダンス（ヨガ）のきまりを守って友達と協働し、取り組もうとしている。（協働）

- 友達に遊び方のきまりを伝えようとしている。
- 判定を受け入れて遊んでいる。

【称賛の言葉かけ例】

「きちんときまりを守っていていいね！」
「正直に当たったことを認めていて素敵！」

- ・みんなが活躍できたほうが楽しくなるということを全体に広げる。
- ・ダンス(ヨガ)の数を増やし投げられる機会を増やす。

△同じ子ばかりが投げている、退屈そうにする姿が目立つ。

・ダンス（ヨガ）をより楽しくするために工夫しようとしている。（粘り強さ）

- 自分の思いついた遊び方を友達に伝えて一緒に遊んでいる。
- ドッジビーの数やコートの大きさなどを様々に変えて、もっと楽しくしようとしている。

【称賛の言葉かけ例】

「コートを小さくすると皆が当てやすくなって楽しかったね。」
「みんなが活躍できる方法を思いついたね！」
「コートの大きさやドッジビーの数を工夫すると楽しめるね。」
「みんなの考えを取り入れてもいいね！」

・自分に合ったダンス（ヨガ）の行い方に気付いている。（自己調整）

- いろいろな遊び方に挑戦し、その中のいくつかの遊び方に繰り返し取り組んでいる。
- 友達の遊び方を見て、楽しそうな遊びを試している。

【称賛の言葉かけ例】

「当たっても笑顔で遊んでいいね。」
「みんなが投げられるようにしているいいね。」